

とまかぶ

議会広報

平成28年2月発行



新たに大人の仲間入りをした新成人のみなさん

- 第5回 定例会 エゾシカ森林被害防止強化対策事業委託料を計上
各会計補正予算
〈一般質問〉
トマム地区の定住促進
災害避難所の備品
星野リゾート トマムの外国資本の買収
プレミアム商品券事業
「とま〜る」の現状
診療所の医師確保

- 決算特別委員会
- 議会の主なうごき

No.
144

第5回 定例会

対策事業委託料を計上

平成27年第5回定例会は、12月17日・18日の2日間で開催され、条例の一部改正や各会
計補正予算などの審議が行われました。最終日には4件の追加議案が提出され、すべて原
案どおり可決しました。また、6議員が一般質問で政策論議を展開しました。

(傍聴 17日33人 18日0人)

条例等の制定・改正

・占冠村行政手続きにおける
個人番号の利用に関する条
例の制定

・占冠村放課後児童健全育
成事業の設備及び運営に関す
る条例の制定

・占冠村敬老祝い金の給付に
関する条例の全部改正

給付対象に満90歳と満100
歳を加え、申請方式から自動給
付へ変更されます。

・占冠村税条例の一部改正

・占冠村国民健康保険税条例
の一部改正

・占冠村介護保険条例の一部
改正

平成27年度補正予算

質 疑

【一般会計】

問 地域センター病院医療機器
整備事業負担金増額の内容は。

(木村議員)

小尾保健福祉課長

小児科・産
婦人科のベッド等を整備するた
めです。

問 学校管理費で地下タンク清
掃埋設管漏洩検査委託料が全て
減額になった理由は。(木村議
員)

伊藤教育次長

地下タンクから
地上タンクへ切り替えをしたの
で漏洩検査の必要がなくなりま
した。

問 ふるさと寄付金の仕組みと
今後の使用方法について。(山
本議員)

松永企画商工課長

占冠・村づ
くり寄付金規則があり、そこ
には林業振興、農業振興、福祉増
進、環境観光振興に関する事業
が定められています。使途につ
いては、村の重点施策推進のた
め、次年度予算に反映させてい
きます。



エサで誘引されたエゾシカ

問 エゾシカ林業被害防止強化
対策事業のシャープシューティ
ングの内容と実施時期につい
て。(山本議員)

田畑林業振興室長

エゾシカを
おびき寄せるため餌を配置し、
効率的かつ安全に捕獲する事業
です。12月から3月中旬まで実
施する予定です。

問 寄附者贈呈品の内容につい
て。(山本議員)

松永課長

星野リゾートトマ
ムスキーシーズン券、占冠山村

産業振興公社の山菜詰合せ、
地元農家のメロン、その他野
菜・鹿肉・ククサ・木工品が
あります。

人事案件

○選挙管理委員・補充員

占冠村選挙管理委員会の任
期満了(12月22日)に伴い、
地方自治法の規定により、議
会において選挙管理委員及び
補充員の選挙が行われました。
選挙の方法は、本議会にお
いて議長の指名推選により行
われ、次の方々に決定しまし
た。

・選挙管理委員

山崎 正紀(占冠)

馬瀬戸笑子(中央)

長瀬 弘侍(中央)

菅原勇治郎(中央)

・補充員

八木 靖子(占冠)

赤石 菊子(中央)

窪田 敏雄(中央)

細谷 実佳(占冠)

議会会議規則を改正

議員が出産のため会議等に
出席出来ないときは、日数を

エゾシカ森林被害防止強化

定めて、あらかじめ議長に欠席届出を提出できる条項が追加されました。

追加議案を可決

人事院勧告に基づく議員・特別職・職員の給与等の条例改正・補正予算4件を可決しました。

質疑

問 職員等の勤勉手当が減額されて、いまだ回復していないが、職場状況は国の政策が変わるたびに、その対応に翻弄され厳しい状況にあります。払うものは払って、一生懸命頑張ってもらう体制が必要に思うが。(五十嵐議員)

中村村長 職員の給与並びに諸手当については、いままでもあり人事院勧告に準拠した形で進めていきます。

村長の行政報告

①村有リゾート施設

占冠村と株式会社星野リゾート・トマムとは、賃貸借契約書が締結されていますが、村有リゾート施設の買取りの合意書の延期願が提出され、新たな合意書の締結に向かう予定でした。このような中、突然11月11日「星野リゾート・トマム、中国企業が買収183億円」という

平成27年度 補正予算 ～ 第5回定例会 ～	
一般会計 (第5号)	2290万円増 総額25億4070万円⇒25億6360万円 ・エゾシカ森林被害防止強化対策事業費の増など
一般会計 (第6号)	190万円増 総額25億6360万円⇒25億6550万円 ・職員手当費の増など
国民健康保険 (第3号)	1260万円増 総額 1億5730万円⇒1億6990万円 ・一般被保険者療養給付費の増など
簡易水道 (第2号)	700万円減 総額2億5420万円⇒2億4720万円 ・上トマム地区導水管布設工事執行残による減など
公共下水道 (第2号)	90万円増 総額 1億1430万円⇒1億1520万円 ・修繕費の増など

記事が発信されました。

12月3日星野専務が来村し、説明を受けましたが、話し合いによる解決は困難であり、6月に議決された民事調停を進めることを決断しました。

今後は動向を注視して申立てのタイミングを検討してまいります。

②避難訓練

9月26日に中央地区、占冠地区の住民を対象に大雨による水害避難訓練を行いました。

また10月3日にはトマム町内会では、道道が封鎖された場合の災害避難訓練が行われました。

③先進地視察

10月14日から16日に鳥取市で開催された第37回全国公民館集會に参加した後、和牛改良の状況と地域おこしで有名な島根県海士町を視察してきました。

④占冠湯の沢サクラの森づくり事業

「村民植樹祭」

今年で3年目となる村民植樹祭が10月31日湯の沢温泉で行われ、村民や関係者約50人が参加しました。

⑤東南アジア

プロモーション事業 トップセールス

富良野・美瑛広域観光推進協議会の東南アジアトップセールス2015が行われ、富良野圏域と各市町村の素晴らしさをPRしてきました。

⑥富良野圏域における

河川整備促進に 関する要望

11月13日、富良野圏域連携協議会は、上川総合振興局に対し、富良野圏域における河川整備促進に関する要望を行いました。

⑦産学官連携・協力に

関する意見交換会

11月30日に締結後3年目を迎えた基本合意書の検証と今後の活動について意見交換を行いました。

トマム地区の定住促進



工藤國忠議員

1 トマム定住促進

問 トマム地区の定住化について対象者はもとより、住民にとって重大な関心ごとでもあります。宅地の確保と定住対策について伺います。

中村村長 トマム地区の定住化については、村長室移動や住民懇談会などで村営住宅、子育て、医療、交通対策など多くの方からご意見をいただいています。宅地の確保においては現状ではトマム地区については普通財産としての村有地がない状況にあることから、民有地を購入することが必要であると判断しています。

購入する宅地につきましては、道路や上下水道の整備がある場所が良いと考えており、一部の地権者とも接触しているところですが、具体的に報告できる状況になっていないのが現状です。宅地の確保については、定住化対策の大きな課題であると考えており、優先課題として取り進めてまいります。



トマムの公営住宅

2 木材、新生産の販売

問 湯の沢温泉では薪ボイラーを使用中ですが、村の説明では薪ストーブの普及と薪販売をと言っていますが、実績が見えてきていません。積極的な取り組みが求められています。現状はどのような状況にありますか。

中村村長 薪ストーブの普及と薪販売の現状については、木質バイオマス生産組合が生産販売活動の取組みを開始し、概ね2年になります。

この間、湯の沢温泉への薪の供給、最近では村内住民の一部、更にはトマムリゾート関連施設への薪供給も増えつつあると聞いています。

薪ストーブの普及においては、占冠村木質バイオマス生産組合において、村外メーカーとの代理店契約等が整い、村内一般家庭を含む販路拡大に向けた取組みが開始されているものと承知しています。これまでの助成制度活用実績では、薪ストーブ設置導入2件、薪購入2件であります。

問 製材機が導入されて7カ月が過ぎていますが、具体的な宣伝をされていますか。また現在どの程度販売されたか伺います。

中村村長 簡易製材機の活用と製材品の販売状況については、本年7月に購入し、実質的には9月からの稼働となっています。この間、村内企業体5社と個人宅のウッドデッキ1件の販売実績があると聞いています。

問 今後、薪製材の販路拡大に向けた方策等について伺います。

中村村長 9月の定例会において占冠村木質バイオマス導入促進事業関連の予算が承認されました。

このことにより薪ストーブ、薪ボイラー購入及び設置に関わる経費、並びに一般家庭用薪購入にかかる一部助成制度を創設がされていますので、村としても販路拡大に向けた取組みを期待しています。



導入された簡易製材機

災害避難所の備品



大谷元江議員

1 災害避難所

問 食料及び物資の内容について、アレルギーをもっている方の詳細と人数、食料の内容、その他に物資の備蓄は何日を想定しているのか、数量及びサイズを準備していますか。

中村村長 アレルギーをもっている方の詳細と人数は、個人情報ということもあり詳細に把握はしていません。

食料ではアレルギー対応の備蓄食料として、特定原材料非使用食「安心米」を100食分、避難状況によりですが3日分を想定し、物資はトイレットペーパー400個、紙おむつについては、乳幼児用Lサイズ264枚、ビッグサイズ228枚、介護用Mサイズ60枚、Lサイズ51枚、生理用品578枚を備蓄しています。

問 避難所備蓄倉庫の防犯対策について伺います。

中村村長 施設と定期的な確認による管理は行っており、備蓄品の盗難被害も報道されていますので、感知式照明などの盗難対策が必要と考えています。

問 避難者のペットの取扱いはどのようにされるか伺います。

中村村長 動物のペットも家族同様との気風ではありますが、避難所施設内の持込みは出来ないよう取り進めたいと考えます。その際の飼育については屋外となりますので、飼育方法や施設設置を今後の検討事項としていきたいと思っています。



避難所に備蓄される食料品や生活用品

2 通学路の除雪状況

問 役場庁舎横の通学路の除雪の雪山によって視界が遮断されていますが考えを伺います。

中村村長 役場駐車場の堆積の雪が通学路に堆積して視界が遮られていると考えています。

除雪委託業者に対し、通学路側に見えるだけ堆積しないよう指示しましたが、降雪の状況により堆積せざるを得ない場合もありますので、排雪を行い、できるだけ視野を確保していきたいと考えています。

住民と議員の懇談会を開催しました

1月28日・29日の2日間、4地区で開催し、忌憚のない意見をたくさんいただきました。お集まりいただきありがとうございました。懇談の内容については、後日紙面にてご報告させていただきます。





長谷川耿聴議員

星野リゾート トマムの 外国資本の買収

1 新規就農希望者と 村長の懇話

問 新規就農希望者がどのような夢を持ち、対策を望んでいるか、懇話の場を設けてはいかかですか。

中村村長 新規就農支援協議会において面談し、考えを聞く場を設けていますが、必要に応じて機会を作りたいと思います。

ゾートトマムの社内整備方針が決まり次第、J R側と協議をします。

問 トマム駅トイレの水洗化に財政出動してはいかがですか。

中村村長 莫大な費用を負担するのは無理と考えています。

問 高齢者や足の不自由な利用者からエレベーターを設置・整備して欲しいとの声があります。考えを伺います。

中村村長 駅のバリアフリー化につき、J R側にさらに要請します。

4 星野リゾートトマム

問 1階が空いて半年になります。物産館は村の玄関口で顔とも言うべき大事な場所です。方針について伺います。

問 星野リゾートトマムが外国資本に買収されることが報道されました。村と星野リゾートトマムには、2008年に平成24年9月30日を目前に村有施設の買収を約した合意書が結ばれています。しかし、まだ履行がなく、調停の申立てをすることが6月に議決されています。調停の手続きを進めるべきと思いますが伺います。

3 J R占冠駅、 トマム駅の改善

問 駅の改善要望について伺います。

中村村長 安全対策に多額の費用を要しているため、要請項目の改善はありません。トイレについては清掃を徹底し、管理に努めていただいています。トマム駅ホームについては星野リ

めるため、調停の申立てを延期しました。

問 合意書の期限で施設が買い取られた場合に、村の収入となる固定資産税の総額はいかほどと推計されますか。

中村村長 税額が確定されても、納税義務者以外にその情報を公表することはできません。

問 合意書どおり履行されないから固定資産税が入らない。これは村の損失で収入減に繋がるとは思います。考えを伺います。

中村村長 合意書では買取時期については「目途」とされています。9月30日は確定日ではなく、利用が延び延びになっている状態で、損失はまだ生じていないと考えています。

問 村の土地と施設が外国資本に間接的に買収されることで、住民の不安は大きいものがあります。またリゾート地に関する村有林等の森林に付帯する水源の保全を図らなければならないと思います。

二セコ町では水資源の拠点が外国資本に買い占められることを回避するために、北海道とともに条例制定して規制しています。

す。考えを伺います。

中村村長 そのことに関して村も憂慮しています。先進地である二セコ町を参考に、村も水源を保全するような条例づくり、また国有林とも連携して進めていきたいと考えています。



リゾート敷地内に残る村所有物件

プレミアム商品券事業



山本敬介議員

1 プレミアム商品券事業

問 村の商工業活性化のため、長年続けているプレミアム商品券事業ですが、はじめた経緯とこれまでの総括を伺います。

中村村長 事業が始まったのは17年前の平成10年で、商工会と農協の連名で村に要望書が提出され、プレミアム率20%で販売されたのがはじまりです。村外への購買力流出を食い止めるための緊急対策でした。17年間取り組んできた同事業の目的は現在も大きく変わりません。村内消費を喚起し、商工業者振興を図るとともに、村民の生活支援に資する効果を期待しています。同事業は17年間に約2億円の村内消費効果をもたらしたと考えています。

問 今年度は国の方針で、国と道からの交付金があり、久しぶりに夏と冬2回、合わせて6か月間事業が行われています。今年だけでも2937万5千円という消費を村内に留め置いたこととなります。今年度の事業について伺います。

中村村長 今年度の事業はプレミアム率25%で、1戸の購入

上限金額を10万円に引き上げ、利用期間を3カ月間に拡大したことが、好調要因の1つと考えられています。

今年度事業に関しては夏事業の評価も高く、商工会の創意工夫によるものです。

問 村として次年度以降この事業をどういう形で続けていくのか、方向性を伺います。

中村村長 国の動向はまだわかりませんが、この事業は村費投入の4倍から5倍の経済効果をもたらしており、確実に地域内での消費が実現する事業です。

参加店の自助努力もいただきながら、次年度も2回実施する方向で考えています。



好評だった2015年度プレミアム商品券

2 道の駅の満足度向上を

問 道の駅は今や観光客のみならず、例えば移住を検討している方にとっても重要な情報提供の場になるなど、村の顔としての役割を果たしています。その重要性について伺います。

中村村長 道の駅は、単なる人が集まる場所ではなく、その町の縮図と考えています。

問 国土交通省が発表している平成26年の道の駅ランキングには、「トイレがきれいに感じた道の駅」「ゆっくり休憩できたと感じた道の駅」など様々な分野がありますが、残念ながら占冠の道の駅はどのランキングの10位以内にも入っていません。

こうしたランキングのほかに施設の状況判断の指標として、利用者の満足度調査がありま

中村村長 アンケート調査は必要と考えています。指定管理先の観光協会や商工会とも協議していきます

問 現在の道の駅は、テナント、指定管理者、地域住民が知恵を出し合い、どうすれば満足度を上げられるか考えていく必要があると思います。そんな中で調整を担ってきた道の駅の管理組合が解散したと聞きました、伺います。

中村村長 ショッピングモール管理組合は平成26年1月の定期総会をもって解散しています。各店舗の管理は指定管理者が引き継いでいます。

問 1つ1つのクレームに対応するのは指定管理者が調整することでも可能かもしれませんが、やはり全体の満足度を上げていくというときには、一定の権限が必要になってくると思います。

ここは行政がしっかりと先導して、ユーザの声をしっかりと組み上げて満足度向上、質の向上につながるような仕組みづくりをしていくべきと思いますが、伺います。

中村村長 十分関係者と協議して仕組みづくりに向けて検討したいと考えています。

小規模多機能居宅介護施設 「とま〜る」の現状



五十嵐正雄議員

1 小規模多機能居宅 介護施設「とま〜る」

問 4月の供用開始から9カ月が過ぎました。利用状況を伺います。

中村村長 11月の実績は、通いが213件、在宅介護が延べ143件、泊りが42件の利用実績となっています。

問 社会福祉協議会・役場等関係職員間の定期的な話し合いが行われてきたか伺います。

中村村長 毎月1回、定例で社会福祉協議会、村、保健福祉課、村立診療所の職員で地域ケア会議を開催し、各種サービスの実施状況や日々変化する利用者の検討、協議、報告事項等の調整を行っています。

また、施設運営推進会議をこれまで3回開催し、利用者家族からも施設運営に際しての要望やご意見を受け、適切な運営サービスを提供できるよう努力しているところです。

問 全国的に福祉施設で働く職員が慢性的に不足しています。現状の職員配置でサービスを維持していくとなると1人ひとりの職員の負担が過重となると思

われますが、現状をどのようにとらえているか伺います。

中村村長 今年4月からの運営ということで、いろいろな問題や課題が指摘されています。小さな問題から大きな問題まで、村、社会福祉協議会等で常に問題点、課題等を共有しながら解決できるよう取り組んでいきたいと考えております。



事務所での打合せ風景

問 現状の職場体制では、病人やけが人などの長期休暇者が出た場合、職員配置が大変厳しい状況になります。臨時職員を募集しても、なかなか応募してきません。村として介護職員の人材を育成するための施策を進めるべきと考えますが伺います。

中村村長

介護または看護にあたる職員というのはこの介護施設でも少ないという状況が報告されています。

村においても、そういったことを解決するには人材育成が必要と考えています。まずは資格取得のための施策というものを考えてみたいと思っています。



ホールでの活動風景

議会は、どなたでも気軽に傍聴する事が出来ます。

傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。途中入場や途中退場も自由です。傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター(役場庁舎)3階です。お気軽においでください。

今後の予定

3月定例会→3月10日(木)・11日(金)・14日(月)・17日(木)
予算特別委員会→3月16日(水)

※いずれも午前10:00開会 ※議事内容等により、日程が変更する場合がございます。



診療所の医師確保



木村一俊議員

1 医療・介護

問 4月から勤めていただく診療所の医師確保の状況をお尋ねします。

中村村長 釧路市の社会医療法人を中心に展開してきましたが、時期的なこと、受け手側の医師確保の課題から難しいと判断しました。現在は公募や医師紹介機関等を利用しながら、個人医師1人の確保に向け取り組んでいます。

問 診療所では、人事異動により担当者が慣れない仕事で苦労している実態があると資料で述べられています。

事務長職は役場定年離職者をあててはいかがですか。

中村村長 病院事務は専門的ですので、村全体の人事異動の中で考えたいと思います。

問 札幌でも内科医が50〜60人不足の状況だそうです。採用条件を配慮して医師を確保して欲しいと思いますが考えを伺います。

中村村長 村内に住んでいたこと、2次医療の病院と連携を取ることを条件として提示

し、医師確保を目指します。

問 日高の診療所では一般・専門外来の2本立て体制で診療し、成果をあげています。有効利用は考えられないのか尋ねます。

中村村長 今後の課題の1つとして受け止めます。

問 北海道の富良野圏域53ベツド削減方針について村長の考えをお尋ねします。

中村村長 想定される影響の把握に努め、村民が不利益を被らないよう議論に参画します。

問 在宅・訪問介護の状況を探ねます。

中村村長 直近11月の実績で1日あたり3〜8件で延べ143件となっています。



医師の確保が進められる診療所

問 市町村の事業に移行する軽度者向き介護サービスへの対応状況を尋ねます。

中村村長 来月の地域ケア会議で生活支援サービス体制整備協議会設立準備会を立ち上げます。

問 「国保」が平成30年から大きく変わります。村の国保は50%以上が応益割保険料の軽減世帯という状況です。もっと所得を上げさせる施策が必要だと思いますし、窓口で払う一部負担金の減額免除も考えていかなければならないと思いますが、考えを伺います。

中村村長 現在の制度を運用して低所得者でも受診できる施策が必要と考えています。

2 村の地方版総合戦略

問 急いで策定して交付金を配分されるのではなく、反対に調査分析委託料で800万円を支出することは、国の施策の下請けコンサルタントを利用するだけではないのかと思いますが、考えを伺います。

中村村長 その委託は「地方人口ビジョン」の作成のため委託したものです。

問 すでに計画策定を終え、事業を推進している市町村もあります。行政にスピード感がなく、起案力・政策推進力の遅れを憂えます。村長の考えを尋ねます。

中村村長 職員は村民の福祉向上、地域振興に向かい時間を惜しんで仕事をしていると思っています。

3 TPPの大筋合意

問 村の1次産業を守るシステムを築く必要があり、村には観光の最前線基地として「道の駅」や「道東道IC」があります。

占冠産材を使った薪ストーブで暖が取れる建造物を作り、生産物販売や食事の原材料は全て村の農林業が担うシステムを作るなど、観光を一部の業種でなく地域全体の産業体として育て、たくさん村民が活躍できる場として活用できないか考えを伺います。

中村村長 生産された農産物・林産物を少しでも村内で使っていただく方法を、農林業関係者や商工会・観光協会という関係機関で構築できればいいなと考えています。

総額33億9323万円を認定

平成26年度 各会計決算状況

【万単位切り捨て】

会 計 別		歳 入 額	歳 出 額	差 引 金 額
一 般 会 計		27億7842万円	27億476万円	7366万円
特 別 会 計	国民健康保険	1億5763万円	1億4810万円	953万円
	村 立 診 療 所	8824万円	8377万円	447万円
	簡 易 水 道	2億1842万円	2億1651万円	191万円
	公 共 下 水 道	1億318万円	1億18万円	300万円
	介 護 保 険	1億989万円	1億472万円	517万円
	後 期 高 齢 者	1553万円	1518万円	35万円
	歯 科 診 療 所	2222万円	1997万円	225万円
合 計		34億9357万円	33億9323万円	1億34万円

認定すべきと決定

第4回議会定例会において付託された認定第1号「平成26年度一般会計及び各特別会計決算について」は、10月28日と29日の審査の結果、認定すべきものと決定し、第5回議会定例会において、工藤委員長との報告のとおり認定されました。

なお、監査委員より審査意見の報告がありました。

○監査委員審査意見（抜粋）

村の基金（貯金）総額は16億7919万円となりました。基金の積立が減少していく中、今後の村政執行にあたり、行財政改革の原点に立ち戻り、安心して暮らしていける健全な財政運営に努められるよう強く期待します。

質 疑

一 般 会 計

歳 入

問 固定資産税の不納欠損や収入未済額については交付税の補填はありますか。（長谷川議員）

田中総務課長 調定された額が収入額になり、差引きして交付税として入ってきますので補填はありません。

問 固定資産税未収が固定化されている理由は。（長谷川議員）
田中課長 多くはタワー、ヴィレッジの未収で、所有者の破産・倒産等で即時消滅もあり、これらが大きな要因です。



リゾート施設所有権をめぐる
固定資産税の課題

問 財政調整基金と減債基金の総額が11億円で、厳しい財政運営が求められると思いますが見解を求めます。（長谷川議員）

田中課長 一般財源不足を財政調整基金の取崩しを行いました。大きな要因は福祉施設の建設等福祉施策に関するものが大きかったと考えております

平成26年度 決算歳出

が、今後は基金を減らさない施策を行っていきます。

問 農林業分担金で昨年度より多い予算を計上していたが、減額して昨年並みとなった理由は。（長谷川議員）

岩谷産業建設課長 北海道農業公社の事業で行われる草地整備を、当初農家2戸が実施する予定でしたが、1戸が延期したことで減額となり昨年並みとなりました。

問 木炭売払収入の木炭生産事業で当初予算の収入をクリア出来なかった理由は。（木村議員）

田畑林業振興室長 新たな委託先の変更手続きが遅れたことと、技術継承に時間がかかり、試行的な生産を強いられ売り上げが伸びませんでした。

歳出

問 小規模多機能事業ですが、備品購入費が多額の減額、工事に関しては50%の増額、今年は残土処理の補正と計画から施工まで一貫した流れになっていたと思うがその理由は。（長谷川議員）

中田福祉施設推進室長 備品

購入に関しては見積りを徴取した結果74・8%の執行率となり、工事費は人件費のアップ、材料費の高騰により増額になりました。残土処理については、平成27年度施工の外構工事から発生する残土を一括処理することとしていたためです。

問 社会福祉協議会の関係ですが、総収入に対して決算額が70%近く人件費で、今後も指定管理料等、村の支出が増えていく可能性があると思いますが、見通しについて伺います。（長谷川議員）

小尾保健福祉課長 将来、経費の増大が懸念されますが、収入



福祉事業の中心を担う小規模多機能
居宅介護施設「とま〜る」

源が伴う事業については社会福祉協議会と連携して進めていきます。

特別会計

【国保会計】

問 健康保険税で不納欠損が3件あるがその理由は。（木村議員）

小尾課長 時効消滅によるものです。

問 繰越明許費はマイナンバー整備委託料なのかシステムのバージョンアップ業務のものですか。（木村議員）

小尾課長 マイナンバー整備委託料によるものです。

問 共同事業拠出金で不用額が生じた理由は。（木村議員）

小尾課長 年度末の医療費動向を推移していたため減額措置ができませんでした。

【村立診療所会計】

問 衛生費道補助金でへき地診療所運営費補助金が年度により、増減あるが理由は。（木村議員）

小尾課長 道とやり取りしている金額は固定されていないの

で、運営の増減により変動します。

【水道会計】

問 収入未済額が増えて収納率が下っている理由は。（木村議員）

岩谷課長 現年度分は減っていますが、滞納分はなかなか減りません。滞納者が固定化されていることが要因だと思います。

【下水道会計】

問 収納率が下がってきている理由は。（木村議員）

岩谷課長 水道会計と同様に滞納者が、固定化されているのが原因ですが、今後は分納して支払っていただけるよう取り進めます。

総務産業常任委員会レポート

●村内所管事務調査

(10月8日調査)

調査は、村長、各担当者の同行により、現地で説明を受け実施しました。

○占冠村木質バイオマス生産組合施設状況調査

貯木場に堆積されている原木が、古くなると腐食など品質が悪くなるので適度な時期に販売すること、また、危険防止のため製材工場内の整備・整頓を指導するように要望しました。



貯木場の原木

○林道専用道タンネナイ線状況調査

工事は計画どおり完了していました。



ペンケニニウ治山ダム

○ペンケニニウ支流復旧治山(谷止工)状況調査

工事は計画どおり完了していました。

○避難路現地調査

避難路はゲートボールコート付近から現在利用されている村道2号線を利用して整備することを要望しました。

清流大学28人が傍聴



第5回定例会1日目(12月17日)は、清流大学のみなさん32人が傍聴にお越しいただきました。

みなさん、真剣なまなざしで議論を見守られ、熱心にメモを取られる姿もありました。議員も大勢の視線を背中に受けての一般質問は緊張感があり、身が引き締まる思いでした。



活動報告

○富良野沿線議員研修会

(10月5日)

富良野沿線5市町村の議員49人が参加し、上富良野町消防庁舎で行われました。

今回は、「国民健康保険の見直しについて」と題して、北海道保健福祉部健康安全局国保医療課長の望月泰彦さんを講師に招き講演を開催しました。

講演では、医療の動向やこれからの人口推移や社会保障費用の将来推計の説明から「社会保障・税の一体改革による社会制度改革」の今後の進め方について解説されました。



望月泰彦氏



○上川管内議員研修会

(10月27日)

上川管内町村議会議員約300人が参加し、当麻町の公民館「まともーる」で行われました。東京大学大学院農学国際専攻教授の鈴木亘弘さんから「TPP交渉について」と題して講演があり、TPP(環太平洋連携協定)交渉は2015年10月、ついに「大筋合意」に達したと発表された。合意の中身は不明で見切発車の「玉虫色」の決着といえるものであったと述べていました。



鈴木亘弘氏



須田慎一郎氏

続いて経済ジャーナリストの須田慎一郎さんからは「日本経済の課題と展望」と題した講演があり、「景気がいい」とは「人並みの努力をすれば報われる。」ことと考えれば、そんな時期はもう来ない。1990年を境に誰もが想像ができないほどの経済構造の変化が起きていると認識しなければならぬ。もう過去の経験や成功例は通用しないと解説されました。

議会の主なうごき

(平成27年9月定例会終了後から平成27年12月定例会まで)

9月15日	広報特別委員会 (各委員)
18日	平成27年度合同金婚式及び敬老会 (各議員)
10月 1日	広報特別委員会 (各委員)
5日	富良野沿線市町村議会議員研修会 (上富良野町・全議員)
8日	総務産業常任委員会村内所管事務調査 (各委員)
9日～10日	上川・留萌管内女性議員研修会 (比布町・大谷議員)
13日	広報特別委員会 (各委員)
15日～16日	上富良野駐屯地の現状規模の堅持に関する中央要望 (東京都・議長)
20日	上川管内町村議会議長研修会 (比布町・議長)
23日	富良野沿線市町村議会議長会秋期会議 (富良野市・議長)
25日	平成27年度占冠消防秋季演習 (議長)
27日	上川管内町村議会議員研修会 (当麻町・全議員)
28日～29日	決算特別委員会 (各委員)
30日	富良野広域連合議会定例会 (富良野市・各議員)
31日	占冠湯の沢サクラの森づくり事業「村民植樹祭」(各議員)
11月 9日	正副議長会議 (議長・副議長)
10日	上川管内町村議会議長会臨時総会 (東京都・議長)
11日	第59回町村議会議長会全国大会 (東京都・議長)
12日～14日	上川管内町村議会議長会現地研修会 (石川県、富山県・議長)
20日	村有リゾート施設議員打合せ会議 (全議員)
30日～ 1日	総務産業常任委員会道内行政視察 (中札内村、美幌町・各委員)
12月 2日	正副議長会議 (議長・副議長)
3日	総務産業常任委員会 (各委員)
	全員協議会(各議員)
10日	議会運営委員会 (各委員)

編集後記

平成27年度は、前半は寒く、7月中頃からは天候に恵まれ、農業はじめ観光産業においては平年並みと聞いています。しかし、10月末の季節外れの大雪で秋の紅葉を見ることができませんでした。今年は全国的に雨の多い年と聞いています。

いま、占冠村は高齢化が進み、人口減少が心配されます。このような中、11月には星野リゾートトムが中国大手企業に買収と新聞等で報道されました。変わりゆく社会情勢ではありますが、村に不利益にならないように進めていきたいと思っています。

これからも住民皆様の声を村政に反映させながら議会活動の内容を詳しく広報でお伝えしてまいります。

(工藤)

▼議会広報特別委員会 (前期)

委員長 木村 一 俊
副委員長 長谷川 耿 聡
委員 工藤 國 忠
委員 大谷 元 江

〈〈 議会広報や議事録全文は村ホームページでご覧になれます。〉〉

発行：占冠村議会 責任者：相川 繁治 編集：議会広報特別委員会

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184 URL <http://www.vill.shimukappu.lg.jp>